

## ちくしのクリップ

問 秘書広報課

### 3/11 被災者がより必要とする支援を 災害時の物資供給に関する協定

グリーンコープ生活協同組合ふくおか(以下、協同組合)と協定を取り交わしました。この協定は、市内で災害が発生したときに、協同組合から支援物資の提供を受けるものです。締結式で協同組合南地域理事長の永井 洋子さんは「生活者の立場から、より必要とされる物資提供を行い、被災した人の心が安らぐような支援ができれば」と話をしてくれました。



支援物資は多岐にわたります

### 3/2 ワクワクがとまらない! 消防のひろば

筑紫野消防署で「消防のひろば」が開催されました。春の全国火災予防運動の一環として、市や消防団の協力のもと筑紫野太宰府消防本部が主催したもので、会場は1,700人の参加者でにぎわいました。子どもたちは、はしご車搭乗体験や消防車両の展示など11種の体験・展示を通じて、楽しみながら消防について学んでいました。



写真や動画を市ホームページに掲載しています

### 3/20 千秋楽も多くの笑顔に 囲まれて 人形劇団むくむく40周年公演

市内を中心に活動してきた人形劇団むくむくが、40周年記念、そして活動最後の公演を図書館で行いました。延べ6万人以上が観劇してきたむくむくの人形劇は、最終公演のこの日も多くの人たちを楽しませていました。むくむくの加留部 恵美子さんと砥綿 信子さんは「子どもたちの笑顔と多くの人々の支えで続けて来られました」と涙まじりの笑顔で話をしてくれました。



最終公演は197人もの方が観劇しました

### 3/6 文化復興の願いが詰まった 文化協会から義援金を預かる

筑紫野市文化協会から能登半島地震の復興支援の募金85,798円を預かりました。この募金は3月2日、3日に開催されたちくしの芸術祭の会場にて集まったものです。会長の河津 政雄さんは「この支援が被災地の文化復興につながればうれしいです」とのこと。預かった募金は日本赤十字社を通し、被災地支援に役立てられます。



義援金を預かる平井市長

4/2

## 一音に込める思いとこだわり

全国ピアノコンクールで1位を獲得

原田小学校4年生の熊本 海音さんが、東京国際ピアノコンクール小学生中学年の部で第1位となり、今夏オーストリアのウィーンで公演する権利を獲得しました。これまでも多くの全国大会で第1位を受賞し、アクロス福岡で演奏した経験を持つ熊本さん。将来の夢は、「世界中のホールで演奏できるピアニストになりたいです」と話をしていました。



「演奏中は曲から物語が浮かんできます」と話す熊本さん(左)

4/6

## 次の目的地は筑紫野へ!

福岡・大分デスティネーションキャンペーン

JR九州、福岡県、大分県などが協力して行う大型観光キャンペーンのオープニングイベントがJR博多駅前広場で開催され、筑紫野市観光協会による物販ブース、筑紫高校の皆さんによる吹奏楽とダンスのステージでイベントに参加しました。ダンス披露時には『つくしのロックンロール』が博多駅前に響き渡り、訪れた観光客などの心を躍らせていました。



『つくしのロックンロール』のダンスを踊る筑紫高校の皆さん

3/27

## 新技術を生かして

公共交通課題の解決へ向けて

西日本鉄道株式会社、ネクスト・モビリティ株式会社の2社と、「持続可能な公共交通体系の構築に向けた研究に関する協定」を締結しました。この協定により、今後の地域公共交通の課題に対し、2社との情報連携を行い、AIなどの新技術の活用を含めた持続可能な公共交通網の維持・形成に向けた研究を進めていきます。



この協定は県内で5自治体目となります

3/27

## 惜敗の悔しさを次へ向けて

空道で全国大会準優勝

昨年11月に宮城県で開催された2023全日本空道ジュニア選手権大会で筑紫東小学校5年生の臼井 竣哉さんと天拝中学校2年生の荒木 あかりさんがそれぞれの階級で準優勝しました。空道とは、ヘッドギアを装着して試合を行う打撃系総合武道です。市長との懇談の中で2人は「全国大会優勝をめざします」と今後の目標を話してくれました。



左から臼井さん、平井市長、荒木さん